

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床評価実習		実習	嘉納 綾・小田 佳子・石橋 保子 石原 真奈美・淡路 大致・岡田 誠暁	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
135 時間（3 単位）		回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
臨床評価実習では、臨床教育指導者の指導・監督のもとで、典型的な障害特性を呈する対象者に対して、作業療法士としての①倫理観や基本的態度を身につける、②許容される臨床技能を実践できる、③臨床教育指導者が情報をどのように捉え、作業療法目標を設定し、作業療法プログラムを実施しているかを理解する。そして何より対象者に寄り添い、対象者の思いを理解できることを目指す。				
授業の到達目標				
1. 職業人としての常識的態度を身につける。 2. 責任ある行動を身につける。 3. 自己管理ができる。 4. 意欲的に取り組む姿勢(探求心・創造性)を身につける。 5. 臨床教育指導者の指導・監督のもとで、情報収集・面接・観察・検査測定ができる。 6. 臨床教育指導者の作業療法の臨床思考過程を説明できる。 7. 管理および運営の補助ができる。				
授業計画				
回	内容			
	オリエンテーション（4時間）			
	評価実習			
	実習期間：1月末～2月中旬の3週間（1日8時間×15日間）			
	実習施設：病院、老人保健施設など学校が依頼し決定した施設			
	実習形態：同一施設で臨床教育指導者の指導・監督のもと作業療法評価過程を経験する			
	詳細については、オリエンテーション時に伝える			
	実習セミナーⅠ（8時間）			
	1人の対象者に関して実習で得られた情報を、担当教員の指導のもとまとめる			
	実習セミナーⅡ（3時間）			
	実習セミナーⅠでまとめた対象者について発表する			
成績の評価と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	100%	実習内容、実習セミナーで総合的に評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
臨床評価実習の手引き（神戸総合医療専門学校 作業療法士科）				
自由記載				
備考				
実習は対象者や関係者、実習施設の好意により行われるため、感謝と礼儀を忘れないこと。日頃から健康管理につとめ、特に実習期間は健康に留意すること。麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎の抗体値が基準を満たしていることと、インフルエンザワクチンを接種していることが、実習に参加する条件である。				